

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第 78 回

『信頼される理由 ～ 遺志の具現化 ～』

2021年10月9日午前中、新渡戸稲造記念センターから、早稲田大学 中野国際コミュニティプラザ エクステンションセンター 中野校（東京都中野区）での講座『がんと生きる哲学 ～ 医師との対話を通して「がん」と生きる方法を考える ～』に向かった。『楕円形のころも ～ がん哲学エッセンス ～』（春秋社）を音読しながら多数の質疑応答で、大変有意義な講座であった。

2021年10月9日午後は、順天堂大学医学部でのオンライン『緩和ケアネットワーク講演会』で講演『21世紀の医療の扉を開く ～ 正論より配慮 ～』に赴いた（画像）。100人以上の参加者であったようである。『21世紀の医療の扉を開く「正論より配慮へ」素晴らしい、そしていつも変わらない「がん哲学外来」の原点に立った1時間のお話しに、平安を頂きました。1年数カ月ぶりの樋野節、とても有難いでした。また、質問にも丁寧にお答えいただき感謝しております。』、『「がん哲学」が吉田富三先生(1903-1973)に由来している事、恥ずかしながら初めて聴きました。——吉田先生の遺志を具現化されたのが先生であることは間違いありません。児童生徒も含め、一般の皆さまに向けた啓発活動を、よろしく願いいたします。これからも応援しています。』、『お陰様で、充実した講演会をお届けすることができました。深く感謝いたします。——モンゴルからの留学生にも言及いただき、有り難うございました。本人も我々研究室スタッフも励みになります。』などなどの、心温まるメールを頂いた。モンゴルの留学生（ロシア語も出来るとのこと）が、筆者の本を、モンゴル語に訳したいようである。本当に実現したら、歴史的快挙となろう！

2021年10月10日、都内で『がん哲学外来』の面談を行った。そのあと、雑誌の編集者から、「がん患者の意思決定」、「苦しみに直面する人に、どのように答えるか」などについての取材を受けた。早速、「樋野先生が患者さんたちに信頼されている理由がよくわかりました。」との励ましのメールを頂いた。

第12回 東東京緩和ケアネットワーク講演会

- ◆日時：令和3年10月9日(土) 14:00~16:30
- ◆場所：順天堂大学会議室よりWeb配信(Zoom Meetingにて配信)
- ◆視聴方法：裏面を参照ください

プログラム

- ◆14:00~14:10【情報提供】「フェントステープにつきまして」 協和キリン(株)
総合司会： 順天堂大学大学院医学研究科 緩和医療学 教授 水嶋 章郎先生
- ◆14:10~14:15【開会の挨拶】
東京医科歯科大学医学部 臨床腫瘍学分野 教授 三宅 智 先生
- ◆14:15~14:45【教育講演】
《座長》 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科長 里見 絵理子先生
『痛みの遷延化を修飾する多様な因子を科学する
： 痛みの多様性と複合性』
《演者》 星薬科大学薬理学研究室 国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野
成田 年先生
- ◆14:45~15:15【一般講演】
《座長》 医療法人社団 淳友会 わたクリニック船堀 院長 行田 泰明先生
『在宅緩和ケアに携わって20年~その課題と対応について~』
《演者》 医療法人社団 貴昌会 岡野ファミリークリニック 院長 岡野 昌彦先生
- ◆15:15~15:25【休憩】
- ◆15:25~16:25【特別講演】
《座長》 医療法人社団天裕会 理事長 太田 恵一朗先生
『21世紀の医療の扉を開く~ 正論より配慮 ~』
《演者》 順天堂大学名誉教授 新渡戸稲造記念センター長 樋野 興夫先生
- ◆16:25~16:30【閉会の挨拶】
順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 呼吸器内科科長 菅野 康二先生